

Press Release

—お問い合わせ—

宇土市 まちづくり推進課 広報プロモーション係

担当:東(ひがし)、松田(まつだ)、古田(ふるた)

電 話:0964-27-6608/メール:machi05@city.uto.lg.jp



農業アルバイトと移住者が出会い、「ネーブル三姉妹」結成へ

地元特産の網田ネーブルや不知火の新たな可能性に挑戦

ジャムやくずアイス、かき氷シロップなどを開発中

農業アルバイトと移住者が出会い、「ネーブル三姉妹」結成へ

——地元特産のネーブルや不知火の新たな可能性に挑戦

宇土市上網田町にある鋤守農園では、農業アルバイトの木村知里さん(41歳)、見崎生子さん(57歳)と移住者で新規就農を目指して鋤守農園で研修中の福元早紀さん(32歳)の3人がタッグを組み、地域特産である「ネーブル」や「不知火」を使った新たな加工品づくりに挑戦しています。さらに、彼女たちは「ネーブル三姉妹」として、インスタグラムを使って地域の魅力を発信し始めました。

農業アルバイトの現実と、マッチングによる新しい働き方

これまで農業アルバイトは、農作物の収穫シーズンだけ雇われて仕事を渡り歩くのが一般的でした。一方、農家もシーズンごとに人手集めに苦労していました。しかし今回、農作業の合間に加工品製造を行うことで、農業バイトは雇用が途切れず、農家も安定して人材を確保できるという新しいマッチングが生まれました。

母子家庭・木村さんの挑戦と「ネーブル三姉妹」の誕生

加工品づくりのリーダー・木村知里さん(41歳)は、母子家庭で子育てをしながら「高等職業訓練促進給付金」を活用し、2023年8月から2024年8月までの1年間、通信制の製菓専門学校で学びました。2024年9月からは鋤守農園で農業アルバイトを始め、収穫作業の合間に加工場でジャムづくりに挑戦。2025年3月1日の「ジャパンネーブル協会」主催イベントで初めて輪切りネーブルジャムを披露し、好評を得ました。現在は、神奈川県から新規就農のために移住してきた福元さん、2025年5月から加わった見崎さんの3人で「ネーブル三姉妹」として活動しています。

目指せ地蔵まつり出店！商品販売も本格化

今後は、宇土市で開催される地蔵まつりで開発中のシロップを使ったかき氷やくずアイスを提供し、地域の子どもたちや観光客に網田の味を届けたいと考えています。また、三姉妹が作ったジャムは、2025年5月29日から宇土シティ1階の「生産者特殊部隊 UTO」ブースで販売を開始。地元の新たな特産品として注目を集めています。地域の資源と人材を活かした新しい農業のカタチを、ぜひ取材・ご紹介ください。



報道関係者各位

2025 年 6 月 9 日
宇土市役所



Press Release

－お問い合わせ－

宇土市 まちづくり推進課 広報プロモーション係

担当:東(ひがし)、松田(まつだ)、古田(ふるた)

電 話:0964-27-6608/メール:machi05@city.uto.lg.jp

【参考】



左から木村知里さん、鉤守農園の鉤守芳寿さん、見崎生子さん(撮影時、福元さんは神奈川に帰省中)



ネーブル三姉妹が作っている様々な種類のジャム。

輪切りや串切り、果肉感が強いものなど、種類多数。

特に糖度にこだわっており、糖度と保存期間のバランスを研究

しており、現在はあまり甘すぎない糖度 38 度で作成している。

パンやヨーグルトにつけるのもよし、そのまま食べても甘すぎず美味しい。